

【議事録】(概要)

会議名	第5次芦屋町総合振興計画審議会第2部会 (第1回)			会場	芦屋町役場 44会議室		
日時	平成22年8月18日			13:30～			
件名・議題	<p>1) 部会長挨拶</p> <p>2) 第5次総合振興計画に係る対応すべき課題について ※第4次総合振興計画(後期基本計画)の主要施策毎の達成項目及び課題について説明し、意見を求めた。</p> <p>2章 イキイキとした活力あるまちをめざして (産業振興)</p> <p>1節 農業</p> <p>2節 漁業</p> <p>3節 商業</p> <p>4節 観光</p>						
委員の出欠	第2部会						
	第2部会長	甲 斐 清 司	出				
	第2副部会長	横 田 幸 子	出				
		長 戸 隆 弘	出				
		豊 長 忠 志	出				
		野 添 光 弘	出				
		染 井 月 次	出				
		中 西 隆 雄	欠				
		安 高 壽	出				
		今 井 保 利	出				
	貝 掛 俊 之	出					
合意・決定事項	合意・決定事項なし						

（事務局）

第4次総合振興計画 第2章 イキイキとした活力あるまちをめざして （産業振興）

第1節 農業の達成項目と課題について説明

主要施策

1. 効率的かつ安定的な農業経営者の育成
2. 集落営農組織の育成
3. 農業指導体制づくり
4. ため池、農業用水路及び農道の整備
5. 遊休農地の有効活用

（委員）

- ・具体的に“認定農業者”のメリット、デメリットは何か。資格は必要なのか。

（委員）

- ・認定農業者は補助金を受け取れるが、大きな額ではない。
厳しい資格ということはなく、将来目標など計画書を提出することになる。
施策1、2についてはすでに達成されているのではないか。

（委員）

- ・水稻種子はJAから購入しなければ認定されない。

（事務局）

- ・次の施策ではあるが、機械利用組合をつくったらどうかという働きかけをする場合もある。
機会を共同で購入し、効率的に使っていく。

（委員）

- ・農業に直接携わっているわけではないので、まちが進める農業振興と、農業者が進める方向性がわからない。

（事務局）

- ・現状課題が記載されているが、農業指導の主体はJAである。行政は農業用の溜池等の基盤整備が主体である。

（委員）

- ・農業が基幹産業として成り立っている地域で、過疎対策として都会から若い世代を新規就農者として募集するということもあるが、そのようなものは本町で可能なのか。

(委員)

- ・水田は無理だが、ハウスや軟弱野菜であれば可能かと思う。そういう環境は本町にはある。

(委員)

- ・できるのであれば若い世代を望む。

(委員)

- ・現在、他の地域からの新規就農希望者が1名いる。山鹿地区で土地を貸してくれる人を探している。

(委員)

- ・農業が盛んなまちは、町の補助がある。国補助だけでなく、町補助も今後加味されるといい。

(委員)

- ・町単独というよりは郡全体で取り組むべき。

(事務局)

- ・担当課の考えとして、何とか芦屋単独のブランド化ということがある。

(委員)

- ・ブランド化について、町ができることは何か。

(事務局)

- ・消費の場づくり、マーケティング、料理家へ依頼をして加工品をつくり、それをブランド化する、などの支援を行うことが考えられる。

(委員)

- ・実施計画一覧で、継続中のものはどの程度実施しているのか。また、検討段階のもの、10年検討中のものはスクラップアンドビルドしないといけない。

(委員)

- ・来年からのマスタープランとして考えるなら、進めていく道筋を考えないといけない。

(事務局)

- ・実施計画の計上基準については、今後計上基準を見直し、進行管理していきたい。

(委員)

- ・農道と町道の区別はあるのか。

(事務局)

- ・確認して、次回回答する。

(委員)

- ・粟屋地区で道路用地として買収をした農地がそのまま放置されており、どうかしなければならぬと考えている。

(事務局)

- ・特定の場所の件であり、担当課へ連絡しておく。

(委員)

- ・点在している土地を集めて市民農園にできないか。遠賀町ではレンゲ・菜の花米をつくっているが、本町にそのような構想はあるか。

(事務局)

- ・農地の景観づくり、レンゲ・菜の花米も考えていると思う。

(事務局)

第2節 漁業の達成項目と課題について説明

主要施策

- 1. 漁港機能の充実**
- 2. 漁業施設の整備**
- 3. つくり育てる漁業の促進**
- 4. 観光型漁業の促進**

(委員)

- ・“あしやんいか”が最近立ち消えになっている。イカ自体がなかなかとれないことや、PR不足が原因か。

(事務局)

- ・玄界灘や響灘で砂採取を行っており、その影響でイカが近年不漁という話がある。

(委員)

- ・地元にイカはないが、呼子にはある。

(委員)

- ・活性化のためにPRすべきではないだろうか。

(委員)

- ・ブランド化するのであれば補助を出してでも、外に行かないように阻止をしないといけない。

(委員)

- ・農業と同じように、漁業についても町の支援を行えないか。

(委員)

- ・洞山も観光に対応する整備を検討するということだが、車が入れるように門を取り払うということか。

(委員)

- ・フェンスを設けて、漁業者側と観光者側とを分けるという考えもある。

(委員)

- ・財政を考えると選択して取り組んでいかなければならない。観光に力を入れる、教育に力を入れる等、どのようなまちにしていくのかというビジョンをしっかりと決めていかなければならない。いろいろなことが中途半端になっている。

(事務局)

- ・マスタープランは、今後取り組む全ての計画を計上する必要があり、総花的な計画になってしまう傾向にある。

(委員)

- ・今後、本町の人口はどのように変化していくのか。

(コンサルタント)

- ・最近はその自治体でも人口減の傾向にあり、定住化を促進する等、減少を抑制するという考え方が多い。

(事務局)

第3節 商業の達成項目と課題について説明

主要施策

1. 商業の活性化及び近代化の支援

(委員)

- ・船頭町駐車場について、売りありきだったのはなぜか。貸すこともできるが。

(事務局)

- ・第1回目は売却のみ、2回目は売却と賃貸の双方の手法で公募を行っている。

(委員)

- ・売ってもいいが、ハローデイの例にあるように撤退したあと空地となる。まちが活用できなくなるので、売るのはやめておいた方がよいのではないか。

(委員)

- ・商業、観光分野との協働推進事業を進めるとあるが、具体的なものがあるか。

(事務局)

- ・今は未定であるが、担当課では今後商工会と調整していきたい意向がある。

(委員)

- ・近隣のように、商工会と観光協会は共同で行っていくべきだ。

(委員)

- ・商工会のなかに観光課をつくった方がいいのではないか。

(事務局)

第4節 観光の達成項目と課題について説明

主要施策

- 1. 観光まちづくりビジョンの推進**
- 2. 周辺環境の整備**
- 3. 観光公園の整備**
- 4. 芦屋海岸整備事業(県事業)の促進**

(委員)

- ・平成17年度から18年度にかけて観光客が20万人以上減っているのは、砂の美術展を中止した影響か。

(事務局)

- ・砂の美術展の影響が大きいですが、それ以外の要因もある。

(委員)

- ・砂像連盟の取り組みがテレビで放送され、多くの人が見に来ていた。財源の関係もあるだろうが、砂像の復活をしてほしい。砂像と花火と一緒に実施できないかと思う。

(委員)

- ・歴史的資源もたくさんある。大きくななくてもいいので観光バスを配置して、客にコース巡りをしてもらいたい。

(委員)

- ・観光ボランティアになかなか手をつけられない。サイクリングロードも整備したので、ゆっくり町内を巡れるように案内地図やレンタサイクルの数を増やしてはどうか。

(委員)

- ・島原にはボランティアガイドがいる。本町でもバス、運転手、ボランティア観光ガイドを確保したらどうか。今の時代、インターネットで宣伝すれば観光者数も伸びてくると思う。

(委員)

- ・地蔵巡りを目的に年2回程度、博多からバスが2台くらい来ている。PR次第でもっと増えていくと思う。

(委員)

- ・禁止しているにもかかわらず、橋の上から釣りをしている人がいる。他に観光釣り場をつくってはどうか。

(事務局)

- ・観光釣り場は洞山で話も出ている。バスも含め、ハードだけでなくソフトも充実していく必要がある。橋からの釣りは、条例で規制することを予定している。

(委員)

- ・城山公園の整備はないのか。

(事務局)

- ・利用者が少なく、現在積極的なものはない。

(委員)

- ・住民には一番身近な公園である。

(委員)

- ・花火大会にボランティアは出ているか。

(委員)

- ・ 完全なボランティアはあまりいない。

(委員)

- ・ ボランティアの育成を、町が音頭を取るのもひとつの手ではある。

(委員)

- ・ 北九州市ではボランティアの育成に取り組んでおり、年に 1 ~ 2 回講習会を行っている。観光協会だけではできないだろうが、町の助けがあればできる。

(委員)

- ・ 海浜公園を子育て中の親へ P R したら必ず行くと思う。住民でも知らない方もいるので、もっと P R すればよいと思う。